

# 臨床検査科

## 診療科の紹介

臨床検査科は2019年より正式な標榜科としてスタートいたしました。現在常勤医師1名、非常勤病理医師5名で運営し、診療内容は臨床検査に関わる各種診断、検査、管理、コンサルテーション業務を主体に活動を行っています。病理診断に関する業務は産業医科大学第2病理学講座の協力、生理機能検査は関連各診療科医師に協力いただいています。また、各種の検査結果に基づき院内の感染制御や医療安全業務に協力しています。

## 診療科の特徴

2018年の臨床検査に関わる医療法等の改正により、各種検査に精度管理者を配置し、正確な検査結果を保証するとともに検査機器の日々の確かな管理が求められるようになりました。現在の医療では、数年前と比べても疾患の細分化は進んでおり、治療はその細分化された診断に基づき行われます。検査機器もそれに併せて日々進歩し、正しい検査結果無くして正確な診断や治療は困難な時代を迎えつつあります。

救急医療の現場では迅速で正確な検査結果が必要とされる一方で、感染症、小児疾患、がん診療等においては慎重な取り扱いを必要とする遺伝子検査が必要となることがございます。常に病状や状況に合わせて、最適な医療を提供できるように各診療科と連携し、積極的に診療をサポートしています。

当科には日本臨床検査医学会及び日本病理学会専門医資格を有する常勤、非常勤医師が所属し、最新の知見を取り入れながら協力して診断検査業務に当たっています。

## 取り扱う主な対象疾患

- 一般、生化学、免疫・輸血、血液に関わる各種検体の検査、診断及び管理等
- 細菌、真菌及びウイルスに関わる同定、遺伝子解析検査等
- 病理診断及び検査(生検、手術材料に関する病理診断及び病理解剖等)
- 生理機能検査(心電図、超音波検査、肺機能検査、脳波検査等)
- 上記検査に関する診断、コンサルテーション

## 令和3年度 診療実績

検査項目	検査実績(検査項目数)
一般検査	160,068
生化学検査(含、免疫・輸血)	468,826
血液検査	195,256
生理検査	10,385
細菌検査(含、SARS-CoV-2検査)	22,613
時間外緊急検査	216,325
病理検査(生検・術材)	1,373(件数)
術中迅速検査	11(件数)
病理検査(細胞診)	1,075(件数)

## スタッフ紹介



臨床検査主任部長

きむら さとし  
木村 聡